篠田桃紅美術空間からのお知らせ

「傍島幹司展　樹間」

5月27日(金)から開催の企画展「傍島幹司展　樹間」は、地元関市で活躍する作家をテーマにした展覧会の第2弾です。傍島幹司さんは、関市に生まれ育ち、アトリエを構え制作を続けています。傍島さんは、子どものころ遊んだ森や林、水をテーマに作品を制作し、色彩豊かで輝きに満ちた作風で知られ、現代洋画壇で注目されている作家です。また近年では、パリに滞在し制作した水彩画を発表するなど、精力的に制作活動をしています。

本展では、新作を含む油彩画とともに、2010年にパリで制作した水彩画、そしてスケッチやオブジェなど約40点を展示します。樹間を散策するように、森閑とした色彩溢れる傍島作品の世界をお楽しみください。

掲載図版
「樹間Ⅰ」1996年、2011年(加筆)

「傍島幹司展　樹間」
- 会期…7月18日(月・祝)まで
- 入館料…高校生以上300円、中学生以下無料
- 休館日…月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)
- 開館時間…午前9時～午後4時30分

関連イベント
「池田昭子　オーボエ・コンサート」
- 日時…6月10日(金)午後5時30分～
- 入場料…無料　※申し込みが必要
- 申込・照会先…篠田桃紅美術空間（市役所7階）☎㉓7756

「Wing of Spring」1993年

女と男（ひとひと）ともに自分らしく生きよう　男女共同参画社会　vol.81

家庭における男女共同参画

『家庭における男女共同参画が最も身近な参画であることに気づかされました。仕事や地域へと広げていけるよう心がけていこうと思います。』

この身近な家庭における男女共同参画についての意見は、昨年12月12日に開催された第11回関市男女共同参画市民フォーラムの際に、「さんかくの木」参加者の一人から寄せられたメッセージです。

このように、フォーラムに参加したことによって、この男女共同参画ということを理解でき、家庭で男女共同参画がスムーズに実践されていくなら、それがよりよい家庭づくりにつながっていくことになります。

男女共同参画というと言葉が非常に難しく、つい地域や職場といった場面を対象に使ってしまうのが実情です。しかし、良好な家族関係が構築されることでよりよい家庭ができあがり、ひいてはその家庭内で培われ根づいた意識が仕事の面、また地域の人間関係へと広がっていくことになると考えます。

家庭が基本であり、この最小単位が盤石になれば、おのずと素晴らしい男女共同参画社会が実現していくことでしょう。

さんかくサポーター＜F＞

＜照会先＞さんかくサポーター事務局（まちづくり推進課内）☎23−6831